

インターネットでの社会実証(第一期)について

NHKは、今月から、テレビを全く、あるいはほとんど見ない方々を中心に社会実証を実施します。世代を問わず多くの人がスマホやパソコンで情報を得る時代に、公共メディアとして番組や情報をインターネットでお届けする意義や役割、多様化する視聴者ニーズなどについて数回に分けて検証していきます。みなさまに、いつでもどこでも、命と暮らしを守り、正確、公平公正で信頼できる情報や、多角的な視点からの深みのあるコンテンツをお届けし、情報の社会的基盤としての役割をこれまで以上に果たす、「新しいNHK」につなげていくことを目指します。

インターネット上では信頼性のはっきりしない大量の情報が飛び交っています。フェイクニュースやフィルターバブルなどの問題も指摘されています。人と人とのつながりが薄れることによる個人の孤立、社会の基本的な情報が共有されにくくなることによる分断の拡大も懸念されています。

社会実証では、こうした課題に向き合うとともに、正確、公平公正で、豊かで信頼できる情報をお届けし、生活の安全や豊かさ、地域社会の発展などに貢献するという、これまで主に放送で果たしてきた役割について、インターネットを通じてどのように果たせるのかを検証します。第一期は、テレビを持っていない方々や日常的に利用されていない方々など、あわせて約3,000人を対象に、4月22日～5月7日まで実施する予定です。

第一期の今回は、放送の同時配信、大規模災害発生時の速報や緊急ニュースの提供といった、これまでのNHKの放送・インターネットのコンテンツを組み合わせでお伝えするのに加え、放送と通信の融合の時代にNHKに期待される役割(機能)を「正しく理解が深まり、気付く」「知識が広がり、つながる」「簡単に、必要な情報が見つかる」の3つとし、これらの役割について、7つの具体的なサービスを示して実証する予定です。(実証する7つのサービスの内容は裏面に記載しています)第一期では、期待される役割(機能)を検証することを主な目的とし、UIやUXなど、使い勝手の面については、第二期以降に検証していく予定です。また、第一期の調査や分析の結果については、できるだけ早く、「NHKのインターネット活用業務について」(<https://www.nhk.or.jp/net-info/>)に掲載するなど、広く公表して、関係者とも共有いたします。

第二期以降については、実証の項目などを検討したうえで、実施時期や内容が決まり次第、ホームページなどで公表します。

社会実証(第一期)の7つのサービスイメージ

- ① 国民生活に深く関わる主要ニュースについて、NHKの豊富なアーカイブ映像、海外や地域の情報などを組み合わせ、類似のまとめサイトなどとは異なる多角的な視点を提示する(専用のサイトとアプリで提供)
- ② ネットで話題となったテーマについて、NHKの幅広いジャンルのコンテンツを組み合わせ提示し、多角的な視点から、楽しみながらの学びや共感につなげる(①と同じ専用のサイトとアプリで提供)
- ③ ネットで急速に拡散するニュースについて、SNSでの広がり状況を分析して信頼性について注意を促し、フェイクニュース等の可能性について、ネットの利用者が気付く力を養うことができる機能(専用のサイトで利用イメージを提供) ※東京大学大学院 鳥海不二夫教授・TDAI Lab・NHKの共同研究
- ④ 災害報道内容を地図上に蓄積して可視化することで、実際に発生しているとみられる被害の推定や判断材料を提供し、防災・減災の行動に役立ててもらえる機能(専用のサイトで利用イメージを提供)
※千葉大学大学院 中田孝明教授・Smart119・NHKの共同研究
- ⑤ ニュースに関連して、様々な統計データなどについて都道府県ごとの違いを地図上などに示し、地域ごとの特性と全国的な多様性を視覚的に把握できるようにする機能(専用のサイトで利用イメージを提供)
- ⑥ 最新のニュース映像をいつでも一覧で見ることができるようになるとともに、重要度や新着順などで優先順位をつけながら、24時間、最新情報をご覧いただける機能(専用のサイトで利用イメージを提供)
- ⑦ スマホの位置情報と、NHKが豊富に保有する、地域の動画や画像アーカイブを連携させることで、日本各地の風土や多様性を提示し、体感してもらう機能(専用のサイトで利用イメージの動画を提供)